

# MITSUBISHI

## 三菱DLP™プロジェクター 高位置設置金具

形名 BR-H3800


## 組立・設置説明書


取付適合プロジェクターの機種名に関して詳しくは販売店にご相談ください。

- 組立・設置工事を始める前に必ずこの説明書をお読みにになり、正しく安全に行ってください。
- 組立・設置工事は必ず付属品をご使用ください。指定以外のプロジェクター及び他の機器には使用できません。
- 高位置設置金具の本体総質量は1.9kgです。

## 安全のために必ずお守りください

- 組立・設置工事の前にこの「安全のために必ずお守りください」をお読みにになり、正しく安全に行ってください。
- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

 <b>警告</b> 誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性のあるもの	<b>設置場所の強度が必ず安全率10以上になるように設置する</b> 機器本体と高位置設置金具を合わせた総質量の10倍以上の強度の有る設置場所を選んでください。強度の不十分なところに設置すると、プロジェクターや金具が落下しケガの原因となります。
	<b>傾いた場所には設置しない</b> 落下しケガや故障の原因となります。
	<b>固定金具は安全のため必ず取付けてください</b> 取付けないとプロジェクターや金具が地震や震動で落下しケガの原因となります。
	<b>吸気口、排気口をふさがないように設置する</b> 壁などのそばに設置する場合は、壁から50cm以上離してください。吸気口、排気口をふさぐと内部に熱がこもり火災の原因となります。

 <b>注意</b> 誤った取扱いをしたときに傷害または家屋や家財などの損害に結びつくもの	<b>設置はワイヤー等でゆれ止めの処置を行う</b> 地震や震動で落下し、ケガの原因となります。
	<b>火災報知器などの器具のないところに設置する</b> 器具等の誤動作の原因となります。
	<b>建物（構造物）に設置された高位置設置金具と、製品本体の電源アース間及び接続機器の電源アース間に漏電がないことを確認する</b> 漏電が発見された時は工事関係者あるいは、漏電している接続機器のメーカーに連絡し改善を図ってください。
	<b>お子様などがぶら下がったりしないように注意する</b> ケガの原因となります。
	<b>次のような場所に取付けない</b> 高温（35℃以上）の場所や強い振動や衝撃の有る場所。
<b>配線後の電源・信号ケーブルは誤って引っ掛からないよう固定する</b>	

# 付属品

**⚠注意** 部品取付には付属の部品以外を使用しないこと。

次の部品を付属しています。組立・設置工事の前に確認してください。

番号	部品名	個数
①	底板	1
②	PJ固定用連結金具	1
③	固定金具	2
④	PJアジャスター A21-22	4
⑤	座金組込十字穴付小ねじ (M4×10)	6

番号	部品名	個数
⑥	座金組込十字穴付小ねじ (M4×20)	4
⑦	平座金 (M4用)	4
⑧	スプリングワッシャ (M4用)	4
⑨	六角ナット (M4用)	4

## 取付と設置の手順

### 1. 設置位置を決める (1参照)

#### 1. 希望のスクリーンサイズが得られるように投写距離を決める。

- \* 設置する台や棚の端から③固定金具の前側の取付穴までの寸法を130mm以下になるように設置します。130mmを越えると投写映像が欠ける場合があります。
- \* プロジェクターの周囲から500mm以上の通気用スペースを確保してください。
- \* プロジェクターの周囲を囲わないでください。熱がこもり故障の原因となります。

#### 2. スクリーンに対してレンズが直角に向くようにする。

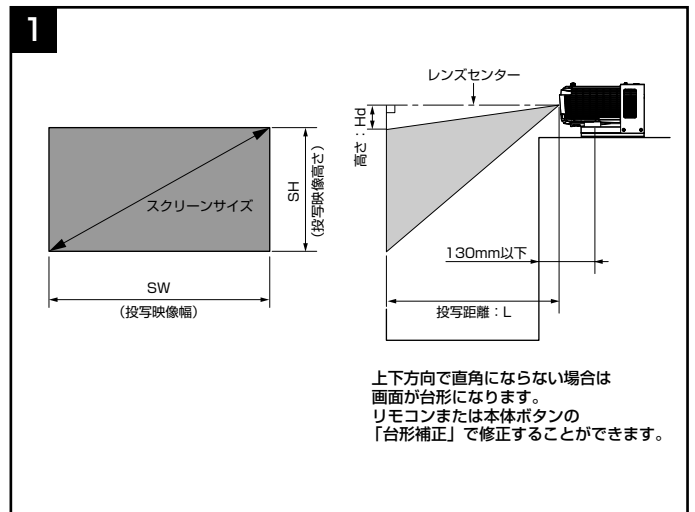
- \* レンズセンターがスクリーンの横方向の中央にくるよう金具位置を決めてください。

### スクリーンサイズが16:9の場合

スクリーンサイズ			投写距離:L		Hd (cm)
(形)	幅SW (cm)	高さSH (cm)	最短 (m)	最長 (m)	
50	111	62	1.5	2.3	21
60	133	75	1.8	2.7	25
70	155	87	2.1	3.2	29
80	177	100	2.4	3.6	34
90	199	112	2.7	4.1	38
100	221	125	3.1	4.6	42
110	244	137	3.4	5.0	46
120	266	149	3.7	5.5	50
150	332	187	4.6	6.9	63
200	443	249	6.2	9.2	84
250	553	311	7.7	11.5	105
300	664	374	9.3	-	126

●表の中の数値は、投写映像サイズを「16:9」に設定した場合の例です。

※上記の数値は、LVP-HC3800の場合です。  
他の製品の場合は、ご使用の製品の取り扱い説明書をご覧ください。



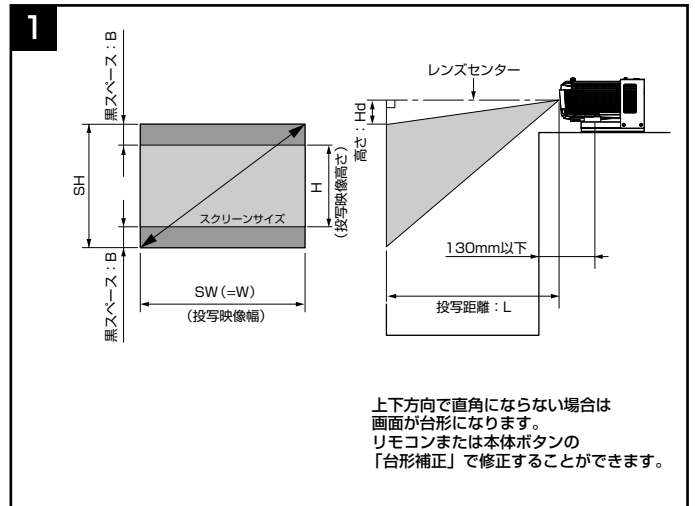
### スクリーンサイズが4:3の場合

スクリーンサイズが4:3の場合、スクリーンと映像の寸法の関係は下記ようになります。

スクリーンサイズ(4:3)			投写映像サイズ(16:9)			投写距離:L		Hd (cm)	
(形)	幅SW (cm)	高さSH (cm)	(形)	幅W (cm)	高さH (cm)	B (cm)	最短 (m)		最長 (m)
50	102	76	46	102	57	10	1.4	2.1	19
60	122	91	55	122	69	11	1.7	2.5	23
70	142	107	64	142	80	13	1.9	2.9	27
80	163	122	73	163	91	15	2.2	3.3	31
90	183	137	83	183	103	17	2.5	3.8	35
100	203	152	92	203	114	19	2.8	4.2	38
110	224	168	101	224	126	21	3.1	4.6	42
120	244	183	110	244	137	23	3.4	5.0	46
150	305	229	138	305	171	29	4.2	6.3	58
200	406	305	184	406	229	38	5.7	8.4	77
250	508	381	229	508	286	48	7.1	10.6	96
300	610	457	275	610	343	57	8.5	-	115

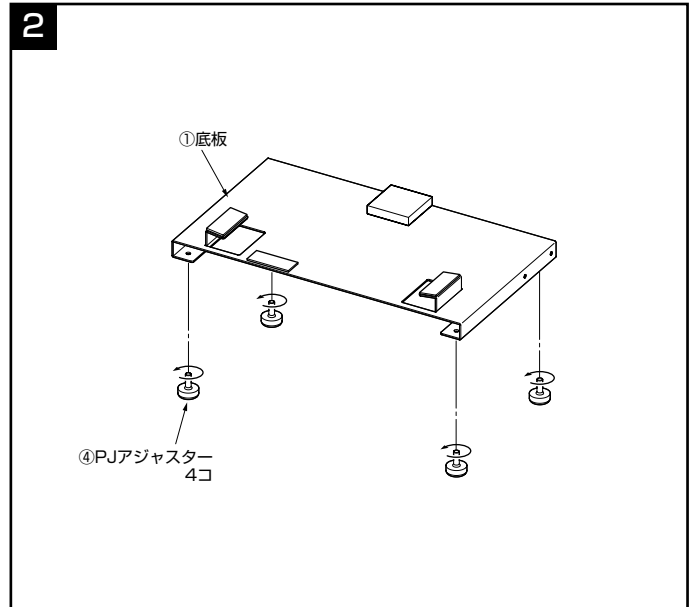
●表の中の数値は、投写映像サイズを「16:9」に設定した場合の例です。

※上記の数値は、LVP-HC3800の場合です。  
他の製品の場合は、ご使用の製品の取り扱い説明書をご覧ください。



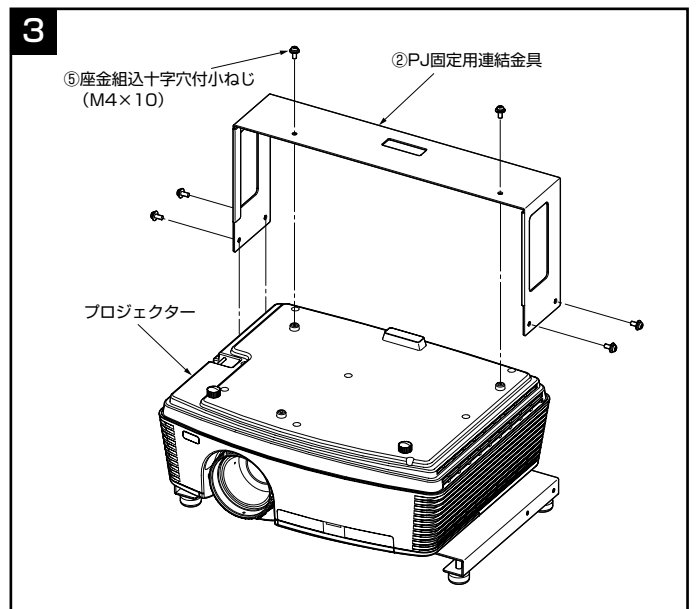
## 2.底板にPJアジャスターを取付ける

1.①底板と④PJアジャスターを仮止めしてください。



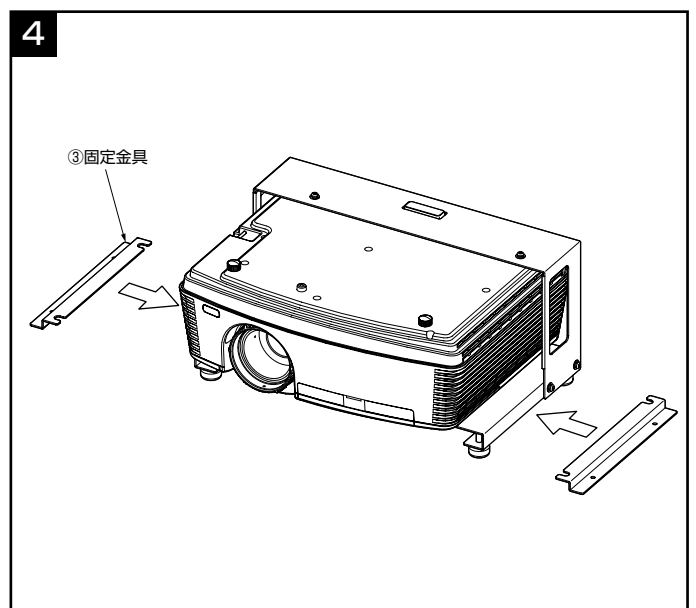
## 3.底板にプロジェクターを連結金具で取付ける

1.①底板にプロジェクターを置き②PJ固定用連結金具を  
⑤座金組込十字穴付小ねじ (M4×10) 6本で取付けて  
ください。



## 4.固定金具を取付ける

1.仮止めした④PJアジャスターに③固定金具を取付けて  
ください

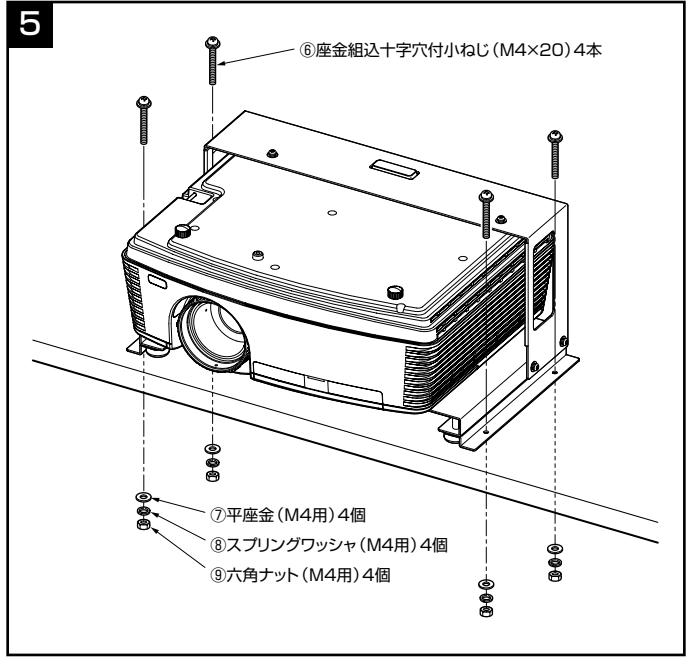


裏面に続く ▶

# 組立と設置の手順 (つづき)

## 5. 台に固定する

- ⑥座金組込十字穴付小ねじ (M4×20) 4本で固定してください。設置台に穴がない場合は、寸法図を参照して事前に穴を開けてください。  
設置台の厚みが厚く同梱したねじの長さで固定できない場合は、適切な長さの市販のM4ねじ (スプリングワッシャ付) をご使用ください。



**警告**

設置場所の強度が必ず安全率10以上になるように設置する。  
機器本体と高位置設置金具を合わせた総重量の10倍以上の強度の有る設置場所を選んでください。  
強度の不十分なところに設置すると、プロジェクターや金具が落下しケガの原因となります。



**警告**

固定金具は安全のため必ず取付けてください。  
取付けないとプロジェクターや金具が地震や震動で落下しケガの原因となります。

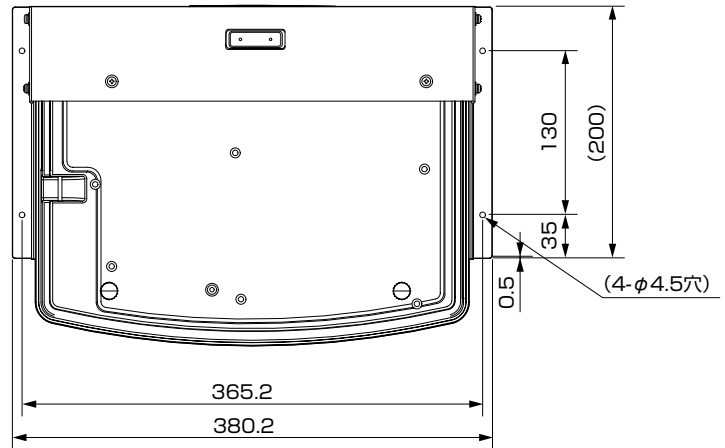
## 寸法図

単位：mm

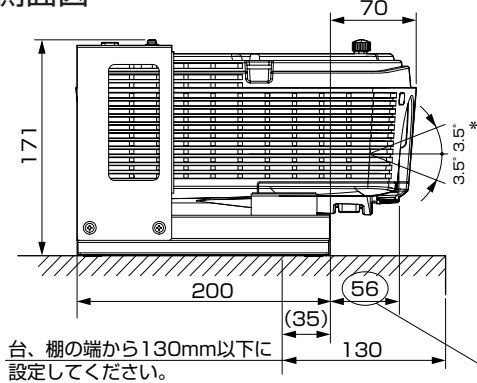
平面図

\*アジャスターを上下することで傾き調整をすることができます。

- ・上下傾き ±3.5° 以内
- ・左右傾き ± 2° 以内

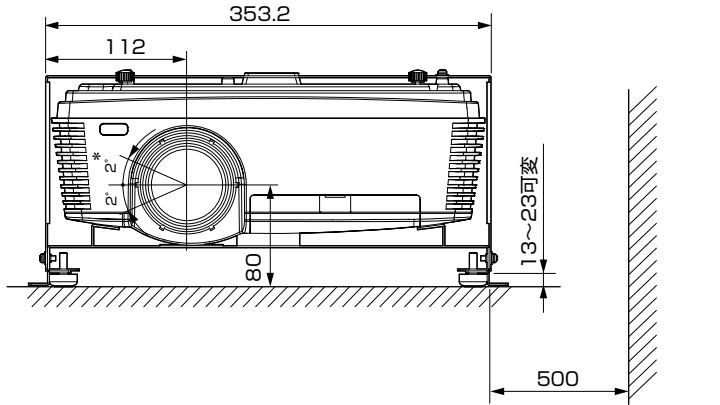


側面図



台、棚の端から130mm以下に設定してください。

正面図



フォーカスリングの先端までの寸法 (フォーカスリングが一番さがった位置)

周囲に通気用スペース500mm以上を確保してください。